

監査報告書

令和4年5月23日

社会福祉法人唐池学園

理事長 鶴飼 一晴 殿

監事 長井 晶子

監事 柏倉 正

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法により当該会計年度に係る事業報告等について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）について検討しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を適正に示しているものと認めます。

(3) その他

別紙のとおり

別紙

- 1 インボイス制度については、貴志園だけでなく法人内の全施設が対象となり、様々なケースでインボイスを記載した領収書の発行を求められることが考えられます。また、園舎の建替えを控えた唐池学園と強羅暁の星園は、国庫補助金を活用すると思いますが、消費税の金額が大きくなりますので、それらのことも考慮して、しっかりと対応できるように必要な準備を進めてください。(柏倉監事)
- 2 心身に支障をきたす職員が多くなってきている現状を改善するため、ストレスチェックの導入や衛生委員会を設置するなど、法人としてメンタルヘルス対策を検討してください。(長井監事)